No.2536

ゆったりとした中央アルプス南端の山

恵 那 山

実施日　2011年10月27日(木)～29日(土)
天　候　快晴
リーダー　若村　勝昭
参加者　斎恵美子、若村貴世子、若村勝昭、伊東勝昭、石原勝正、伊藤久雄、中村友子、石附智江　計8名
費　用　宿泊費 20,000 円(2 泊)　交通費 6,700 円　合計 26,700 円
タイム　28日　ﾎﾃﾙ発(6:30車)林道駐車場(6:50~7:18)恵那山登山口(7:50)恵那山頂上(11:30~12:30)登山口(15:20)駐車場(15:40車)ﾎﾃﾙ(16:10)

27日　東京～昼神温泉　諏訪大社上社と下社の観光

28日　ホテルのおいしいニッポンの朝食はキャンセルして、そそくさと車に乗り恵那山へ出発。林道ゲート前駐車場でコンビニおにぎり。

少し寒いので、ブルゾンを着こみ、手袋もはめて歩き出す。ゲートを抜けて林道を辿り登山口。途中、猿の大群無慮数十頭に出くわす。大きなボス猿や、かわいい子猿が道を渡り、枝から枝へ飛翔する。

アスファルト道を３０分歩き、林道終点近くの登山口から木橋を渡る。ここは数年前女性が渡渉で亡くなった所。冥福を祈る。

すぐに急登、喘登で汗淋漓。カラ松樺林、を抜け、なだらかな尾根になると、肩越しに南アルプス全山、八ヶ岳、中央アルプス、北アルプス、木曽御嶽山と１８０度の眺望で、山座同定に忙しい。

南アの肩には富士山もご挨拶。そんな眺望に疲れを忘れて、ふと気がつくともう頂上の見晴らし台。しかし眺望は今一つ。ここにが こつるを尾根を１５分くらいで立派な避難小屋。藪をぬけて尾根の端に立つが眺望は今までの登り道に負ける。

避難小屋に戻り、小屋の前でゆっくり昼食。のんびり歓談。

やがて、ピストン帰路でひたすら下山。

林道の途中で、大きな黒いイノシシが崖をトラバース。傍若無人に石を落として消えていった。モミジ鍋にしたら美味しいだろうに。

後は、宿の温泉とビールを楽しみに駐車場へ。

29日　ヘブンズ園原園地観光は省略

（記・若村　勝昭）

（写真提供・伊藤久雄／石原勝正）